

作並・新川を歩く

Walking Sakunami and Nikkawa

作並の美しい自然、受け継がれる歴史・伝説・文化に触れるウォーキングコース。
澄んだ空気と木々を揺らす心地よい風を感じながら、作並・新川の散策をぜひお楽しみください。

This is a walking course that brings you into contact with Sakunami's natural environment and the history, legends and culture that have been passed down through the generations.
Please enjoy taking in the fresh clean air and feeling pleasant tree filtered breeze as you walk through Sakunami and Nikkawa.



水の恵みの路

Blessing of Water Path

1周 80分(80min loop) / 6.5km

1 作並駅 ▶ 2 鎌倉山 ▶ 3 鳳鳴四十八滝 ▶
4 ニッカウキスキー 宮城峡蒸溜所 ▶ 1 作並駅

1	10分(min) / 1.0km	2
2	30分(min) / 2.2km	3
3	20分(min) / 1.5km	4
4	20分(min) / 1.8km	1

先人の歩みを学ぶ路

Learning the History of our Ancestors Path

1周 130分(130min loop) / 10.5km

1 作並駅 ▶ 5 岩谷堂穴薬師 ▶
6 新川神社 ▶ 1 作並駅

1	30分(min) / 2.5km	5
5	40分(min) / 3.3km	6
6	60分(min) / 4.7km	1

美を求める路

Pursuing Beauty Path

1周 100分(100min loop) / 7.5km

1 作並駅 ▶ 7 作並街道宿場町 ▶
8 湯のまち作並観光交流館ラサンタ ▶
9 湯神社 ▶ 10 平賀こけし店 ▶ 1 作並駅

1	18分(min) / 1.4km	7
7	18分(min) / 1.4km	8
8	9分(min) / 0.65km	9
9	5分(min) / 0.3km	10
10	50分(min) / 3.75km	1

※時間と距離は目安です。Time and distance are approximate.



Walk

作並・新川を歩く Walking Sakunami and Nikkawa

先人の歩みを学ぶ路

体感しよう！「先人の歩みを学ぶ路」

平家の落人が住み着いたと言われている新川。そこには、サイカチの木やほととぎす塚、そして新川の田植踊などが残り、平家落人の証と伝えられています。また屋号や講など、古くからの伝統文化も息づいています。路沿いにある遺跡や石碑群、神社や城跡などを見ても、遥か昔から自然と共に歩み、共同生活を営み、人や地域とのつながりを大切にしながら暮らしてきたことがわかります。穏やかに広がる里山の風景と、その中に息づく人々の営みを垣間見ることができます。皆さん、ぜひ「先人の歩みを学ぶ路」を歩きながら体感してみませんか？

くわしい情報はウェブサイトへ

For more info, please check our website.



作成：仙台市、作並・新川地区活性化連絡協議会

Learning the History of our Ancestors Path

1 作並駅 ▶ 5 岩谷堂穴薬師 ▶ 6 新川神社 ▶ 1 作並駅

1 30分(min) / 2.5km **5** 40分(min) / 3.3km **6** 60分(min) / 4.7km **1**

※時間と距離は目安です。Time and distance are approximate.

Iwavado Anavakushi Hall

木彫りの東方薬師瑠璃光如来(とうほうやくしるりこうにょらい)が祀られている洞窟。ここには、「姪を愛した叔父が結婚の許しを得るために岩壁に洞窟を掘り、晴れて夫婦となったもののその妻を難病で亡くし、後の世の人のために難産で死ぬことなかと薬師如来を完成させた」という物語が伝えられ、安産祈願や変わらぬ愛を誓いに訪れるカップルも多くいます。

Sakunami Station

作並駅は当初、仙山東線の終端駅として1931年に新設され、蒸気機関車の方向転換のための転車台が設けられました。その後、仙台－作並間は交流電化の試験地として指定され、1957年に日本初の交流電化営業運転を開始。これらの実績から、作並駅は世界に誇る鉄道遺産として、2014年に土木学会が選奨土木遺産に認定されています。

Nikkawa-jinja Shrine

昔、亘理郡(わたりぐん)下郡村(しもごうむら)にいた神様が新川の早坂山に移り、新川地域の鎮守神となったと伝えられ、元々は「亘理大権現」と呼ばれていました。新川集落の宮城村合併により新川神社となり、現在では、稲荷神と山神の二つの神様が祀られ、珍しい親子の狛犬が神様を守っています。

鉄道史に名を残す交流電化の実績をもっと多くの方に伝えようと、第4代機関区長自らが1ヵ月かけて文字を刻んだという石碑です。

惜しまれながらも道路拡張のため伐採された作並温泉桜並木。その桜2本がここに移植され歴史をつないでいます。

開校百年を記念して建てられた
記念碑。「健康協同・創造努力
と刻まれ、歴史を今に伝えます。

山寺に向かう古街道・駒新道に建てられていたものです。表に「此の道や行く人なしに秋の暮、裏には読み人しらずの「骨ばかりついに残る薄かな」の句が刻まれています。

お花畑
毎年6～7月頃、満開の美しい
菖蒲が一面を埋め尽くします。広
川ほたるの会が管理しています。

●

齊藤家宅内にある檜の大木。根回り1.5m、高さ16m、樹齢250年以上と推測されます。齊藤家先祖が繁栄と安全を祈って植栽したと伝えられています。

6月頃には、地域の方々が植栽・管理している色とりどりのあじさいが出迎えてくれます。

大小30数基の石碑が祀られています。供養様と呼ばれる何も刻まれていない一番高い碑は、昔、橋として掛けられたものの、唸り声がするので祀ったという伝説が残ります。

観賞期間がありますので
夏の夜空に舞うほたるを
観賞マナーを守りながら
ぜひ見に来てください。

新川の鎮守様。昔は歯の神様として信仰され、虫歯でお祈りした時には萩の枝で自分の年齢と同数の箸を作り、お札としてに供える習慣がありました。

地元で「おくまん様」と呼ばれる神社。熊野神社が祀られている付近には鈴木家が多いといわれますが、例外にもれず新川でも周りにはたくさんの鈴木家が存在します。

鳥海弥三郎がここに陣を敷き、鎌倉山の鎌倉権五郎景政と戦ったと伝えられています。館山西側には愛宕神社が祀られています。